

大志

山岡中学校だより

令和7年度 3月末号



恵那市山岡町下手向 182-4 TEL 26-6882

世界中の幸せを願って

校長 後藤 琢磨



ダンスを楽しんでいる生徒を見ていたら、とても幸せな気分になりました。私の山岡中学校時代は、ダンスと言えば、休み時間に田原俊彦のものまねをするくらいで、授業で楽しむことはありませんでした。

仲間とダンスを作り上げるのは楽しいことのように思えます。意見を出し合い、動き方を決め、立ち位置を決め、

音楽に合わせて、何度も練習を重ねていく中に、真顔と笑顔が交錯していました。幸せってこういうことなのかなと思いました。

日本の昔話は、よくこんな言葉で終わります。

おじいさんとおばあさんは、いつまでも幸せに暮らしました。めでたし、めでたし。



この老夫婦は、平凡な毎日でも、思ったことを何でも語り合ったから、幸せに暮らしたのでしょう。「ばあさんや、田んぼに水を入れなくて大丈夫か。」「もうすぐ雨が降るから大丈夫ですよ。」「どうしてわかるんじゃ。」「だって、ツバメが低いところを飛んでいるでしょ。」「さすが、ばあさんは賢い人じゃのう。」こんな会話を

二人はしていたのではないかと想像します。

私たちの祖先は、こうした日常生活から、自然の法則を発見し、言葉による伝達方法を確立し、お互いが幸せに暮らす方法を模索してきました。

そんな人類の知恵を学ぶ場が学校です。何億もの人が何千年もかけて発見、発明した知恵を義務教育のたった9年間で学ぼうとしている皆さんは、すごいことをしていると自負してください。

令和7年度、そして山岡中学校が終わります。皆さんが学んできたことが、恵南地域のいや、世界中の幸せという大志につながっていくことを願っています。

